

授業科目 経営学

| | | | | | |
|--|---|--|------------|-----------|----------------------|
| 【担当教員名】 佐藤 正 | 対象学年 | 1 | 対象学科 | 情報 | |
| | 開講時期 | 前期 | 必修選択 | 必修 | |
| | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | |
| 【ディプロマポリシーとの関連性】 | | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 | |
| ◎ | ○ | ○ | ○ | | |
| 【概要・一般目標：G10】 我々の生活は、企業活動と密接に結びついている。我々が生活において必要としている様々な物資やサービスは、ほとんどが企業から提供されている。多くの人は、それを購入するための資金を企業で働くことによって獲得している。企業活動の安定と発展は、社会の安定と発展のために不可欠である。 学問領域としての「経営学」は、この企業活動を研究対象としており、第一にそのメカニズムの解明をおこない、第二にこれを基礎にして、健全な企業活動の推進のための方策を提示する。企業活動が複雑かつ多様であることから、学問領域としての「経営学」には様々な部分領域が形成されている。 この「経営学」という授業科目は、企業活動全般について基本的な要点を提示し、これから学問領域としての「経営学」全体を詳しく勉強していくために必要な基礎的な知識の習得を目標としている。 | | | | | |
| 【学習目標・行動目標：SBO】 「経営学」分野の諸科目を学習するに際して基礎となる、次のような項目についての基礎的な知識を習得する。 1) 企業活動の基盤である市場経済の特徴と企業の基本的機能 2) 企業活動の基本的内容 3) 企業活動を支える会社制度、とりわけ株式会社制度 | | | | | |
| 回数 | 授業計画・学習の主題 | | | SBO 番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 |
| 1 | § 1 私たちと企業、経営学はどんな学問か (1) 私たちの生活と企業活動 | | | | |
| 2 | § 1 私たちと企業、経営学はどんな学問か (2) 企業活動の構造と経営学、理論としての経営学 | | | | |
| 3 | § 2 企業活動の基盤 (1) 私有財産制度 | | | | |
| 4 | § 2 企業活動の基盤 (2) 市場の機能と種類 | | | | |
| 5 | § 2 企業活動の基盤 (3) 市場の形態 | | | | |
| 6 | § 2 企業活動の基盤 (4) 企業活動と国民経済 | | | | |
| 7 | § 3 企業活動の誕生 (起業) (1) 企業活動のビジョン | | | | |
| 8 | § 3 企業活動の誕生 (起業) (2) 企業活動の実行体制 | | | | |
| 9 | § 4 企業の成長と競争戦略 (1) 事業分野のライフサイクルと企業活動の重点 | | | | |
| 10 | § 4 企業の成長と競争戦略 (2) 競争戦略 | | | | |
| 11 | § 4 企業の成長と競争戦略 (3) 企業活動の長期性 | | | | |
| 12 | § 5 株式会社制度 (1) 法人と会社 | | | | |
| 13 | § 5 株式会社制度 (2) 株式会社の設立 | | | | |
| 14 | § 5 株式会社制度 (3) 株式会社の運営 | | | | |
| 15 | § 5 株式会社制度 (4) 株式会社の資金調達 | | | | |
| 【使用図書】 | | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | | | | | |
| 参考書 | | ゼミナール 経営学入門 第3版 | 伊丹敬之、加護野忠男 | 日本経済新聞社 | 2003・3,150円 |
| | | 経営学への招待 第3版 | 坂下昭宣 | 白桃書房 | 2007・2,730円 |
| | | 経営学 | 小松章 | 新世社 | 2003・2,280円 |
| | | 日本のスタートアップ企業 有斐閣ブックス | 米倉誠一郎(編) | 有斐閣 | 2005・2,520円 |
| | | ゼミナール会社法入門 第7版 | 岸田雅雄 | 日本経済新聞社 | 2012・3,675円 |
| その他の資料 | | | | | |
| 【評価方法】 学期の途中でミニテストを実施する。ミニテストと期末テストの成績を総合して評価する。 | | 【履修上の留意点】 授業内容を記したプリントを配布し、これによって授業を進める。その時々時事問題についても解説するので、新聞の経済欄等に常時目を通して欲しい。 授業中の私語は、厳禁である。 | | | |